

III 回答者の属性

1. 市政に対する態度

(1) 市政への関心度

合併や政令指定都市に関する意識や態度に影響を及ぼすと考えられる要素として、市政への関心度を把握するため、以下の問いを設けた。

問 10 あなたは日頃、市役所からの情報やまちづくりなど松戸市の施策に関心がありますか。(1つに)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 関心がある(21.1%) | 2. ある程度関心がある(47.4%) |
| 3. どちらともいえない(14.3%) | 4. あまり関心はない(11.6%) |
| 5. 全く関心はない(1.9%) | 6. わからない(0.3%) |

市政への関心度については、「ある程度関心がある」(47.4%)が最も高く、「関心がある」(21.1%)を合わせると 68.5%となっている。また「あまり関心がない」、「全く関心はない」はそれぞれ 11.6%、1.9%であった。

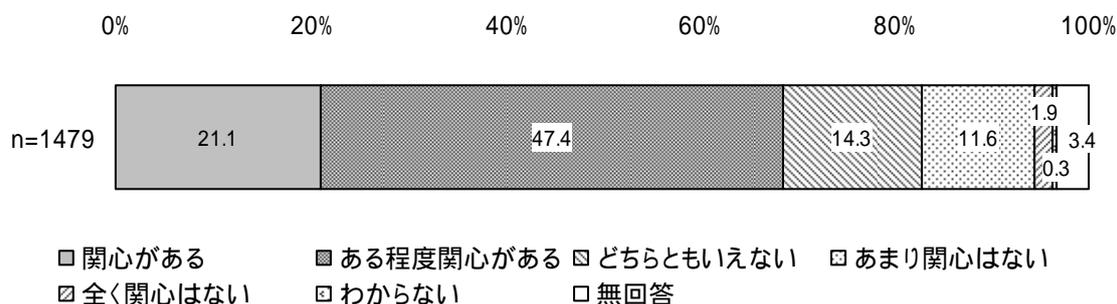


図 20 市政への関心度

【属性別の傾向】

「関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた「関心度が高い」グループの割合について属性別の傾向を見た。

性別

・性別では、関心度の高低にほとんど差がない結果となった。

年齢

・年齢別では「関心度が高い」が「若年層」(15~29歳)で低く、年齢が高くなるにつれて関心度が高い割合を示す傾向にある。

職業

・職業別では、「公務員」(81.5%)、「収入のある職についていない」(78.8%)、「自営業」(76.2%)が高く、「会社員」(62.8%)、学生(30.4%)が低かった。

(2) 市政情報の入手方法

合併や政令指定都市に関する研究内容について、どのような手段での情報提供が効果的か把握するために、市政情報の入手方法を問う設問を設定した。

問 11 あなたは、松戸市の行政情報を主に何によって入手しているかお答えください。(主なもの3つに)

1. 広報誌(広報まつど)(80.7%)
2. 松戸市のホームページ(20.6%)
3. 各種パンフレット(28.9%)
4. 町会などでの集会や会合(16.1%)
5. 市が主催する説明会など(3.1%)
6. テレビ・ラジオ(9.1%)
7. 新聞・雑誌(32.9%)
8. その他(4.6%)
9. 特にない(12.2%)

市政情報の入手方法については、「広報誌」が80.7%を占めて高く、これに「新聞・雑誌」(32.9%)、「各種パンフレット」(28.9%)、「松戸市のホームページ」(20.6%)、「町会などでの集会や会合」(16.1%)、「テレビ、ラジオ」(9.1%)、「市が主催する説明会など」(3.1%)が続いている。

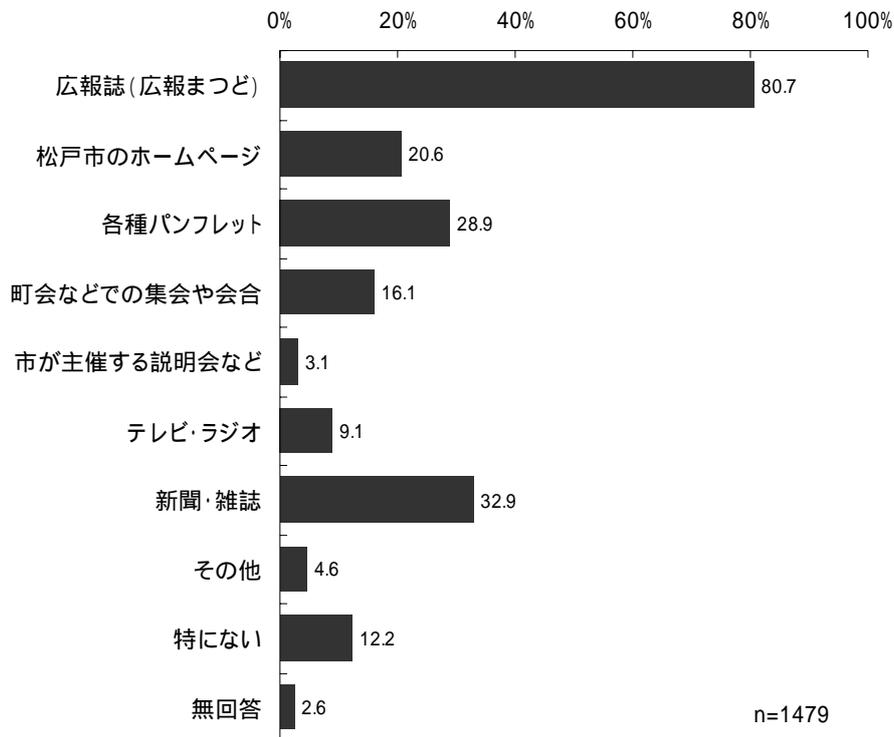


図 2 1 市政情報の入手方法

【属性別の傾向】

年齢

- ・全体で最も回答が多かった「広報誌」では、年齢が高くなるほど高い割合を示す傾向にある。
- ・「松戸市のホームページ」では、「30～39歳」(36.2%)、「40～49歳」(30.8%)が高く、50歳以上で低い割合であった。
- ・また「各種パンフレット」では、「20～29歳」(18.4%)が低かった。

職業

- ・職業別では「広報誌」がどの職業でも最も高い割合を示しているが、「学生」(52.2%)は全体に比べ低い結果となった。
- ・「松戸市のホームページ」では、「会社員」(28.2%)と「公務員」(33.8%)が高い特徴があった。
- ・自営業では、「町会などでの集会や会合」(27.7%)が全体に比べ高かった。

表11 属性×市政情報の入手方法

属性		件数	広報誌 (広報まつど)	松戸市の ホームページ	各種 パンフレット	町会など での集会や 会合	市が主催 する説明会 など	テレビ・ ラジオ	新聞・ 雑誌	その他	特 に な い	無 回 答
全体		1,479	80.7	20.6	28.9	16.1	3.1	9.1	32.9	4.6	12.2	2.6
年齢	15～19歳	46	54.3	19.6	23.9	0.0	2.2	23.9	34.8	2.2	28.3	0.0
	20～29歳	147	60.5	26.5	18.4	5.4	1.4	8.2	27.9	2.7	32.7	0.0
	30～39歳	243	78.2	36.2	23.9	10.3	0.8	7.8	36.6	6.2	16.9	0.0
	40～49歳	214	82.2	30.8	30.8	15.4	0.9	9.3	30.8	5.1	8.9	0.0
	50～59歳	218	87.2	15.1	32.1	19.3	2.3	8.7	37.6	6.4	10.1	0.5
	60～69歳	333	91.6	13.2	33.6	19.2	4.8	9.0	31.8	4.5	6.3	0.0
	70歳以上	239	90.0	10.5	34.7	26.8	7.5	9.6	35.6	3.3	7.1	1.3
職業	会社員	411	75.7	28.2	26.3	9.0	1.5	8.3	32.1	5.4	15.6	1.5
	公務員	65	86.2	33.8	29.2	6.2	3.1	10.8	30.8	3.1	6.2	4.6
	自営業	101	87.1	12.9	24.8	27.7	3.0	11.9	34.7	6.9	8.9	0.0
	臨時雇用	161	82.6	18.0	32.3	21.1	0.0	11.2	36.6	3.7	14.3	2.5
	その他の職業	71	80.3	26.8	32.4	19.7	1.4	11.3	35.2	11.3	9.9	2.8
	学生	69	52.2	15.9	26.1	4.3	2.9	15.9	34.8	1.4	30.4	1.4
	収入のある職にない	476	87.8	16.4	32.6	20.4	5.5	6.9	33.6	3.6	7.6	2.5

網掛けは上位3項目

(3) 広報まつど「合併・政令指定都市に関する特集」の認知度

これまで松戸市で行ってきた合併や政令指定都市に関する調査研究の結果をまとめた内容について、今般のアンケート調査を実施する約2ヶ月前の平成21年8月1日号と15日号に特集記事として掲載した。本記事の内容の認知度を測るため、以下の問いを設けた。

<p>問 12 広報まつどの8月1日号と15日号で合併や政令指定都市に関する特集を掲載しましたが、あなたはお読みになりましたか。(1つに)</p> <p>1. 記事の内容を読んだ(23.9%)</p> <p>2. 記事は見たが読んでいない(18.7%)</p> <p>3. 広報まつどは見たが、記事を見た記憶がない(28.5%)</p> <p>4. 広報まつどを見ていない(22.9%)</p> <p>5. わからない(3.0%)</p>
--

広報まつど「合併・政令指定都市に関する」特集の認知度については、「記事の内容を読んだ」(23.9%)、「記事は見たが読んでいない」(18.7%)、「広報まつどは見たが、記事を見た記憶がない」(28.5%)と広報まつどを見た人は71.1%、記事を見た人は42.6%、記事の内容まで読んだ人は23.9%であった。「広報まつどを見ていない」は22.9%であった。

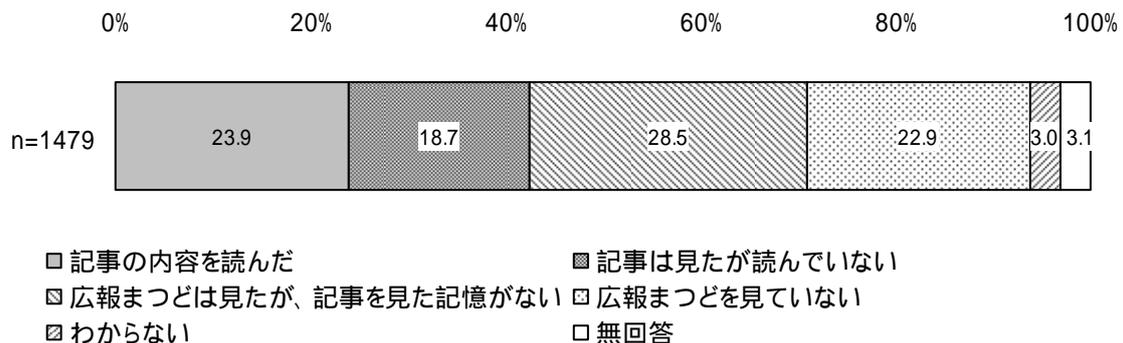


図2.2 広報まつど「合併・政令指定都市に関する特集」の認知度

【属性別の傾向】

年齢

・「記事の内容を読んだ」、「記事は見たが読んでいない」、「広報まつどは見たが、記事を見た記憶がない」を合わせた広報まつどを見た人は、年齢が高くなるにつれて高い割合を示しており、また、「記事の内容を読んだ」においても年齢が高くなると高くなり、「70歳以上」(39.3%)、「60~69歳」(33.0%)が全体と比べてが高かった。

職業

・「記事の内容を読んだ」では、「収入のある職についていない」(33.0%)、「自営業」(28.7%)が全体に比べて高く、「学生」(4.3%)が低かった。

・「広報まつどを見ていない」では「学生」(52.2%)、「会社員」(32.1%)が全体に比べて高かった。

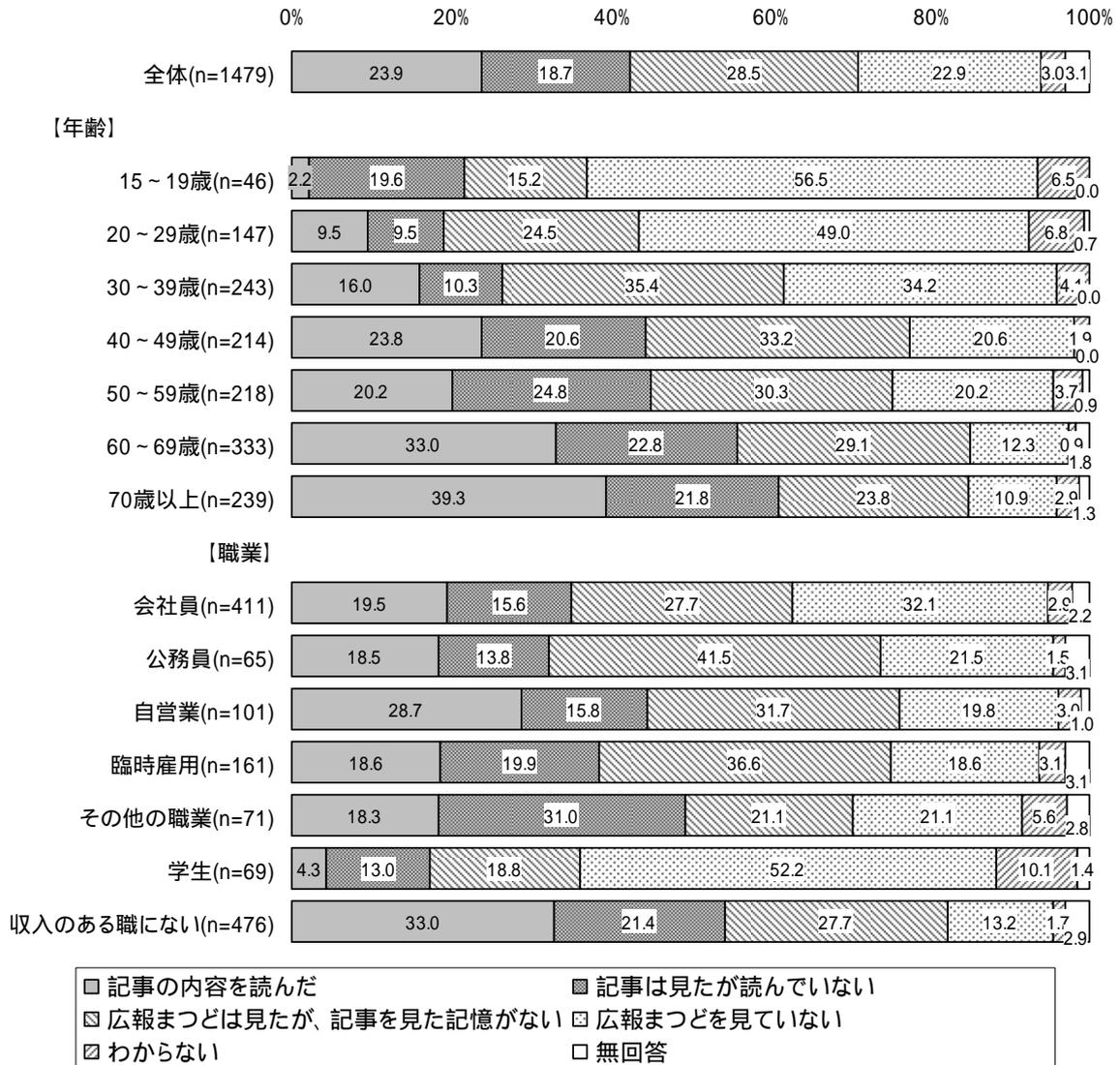


図 2 3 属性×広報まつど「合併・政令指定都市に関する特集」の認知度

4. 基本的な属性

回答者の基本的な属性を把握するため、性別や年齢、職業以外にも合併・政令指定都市に関する意識や態度に影響を及ぼすと考えられる要素として、居住パターン、居住期間、居住地域、定住意向を基本属性として以下のように問いを設けた。

(1) 性別

F 1 あなたの性別を教えてください。(1つに)
 1 . 女性(51.2%) 2 . 男性(46.1%)

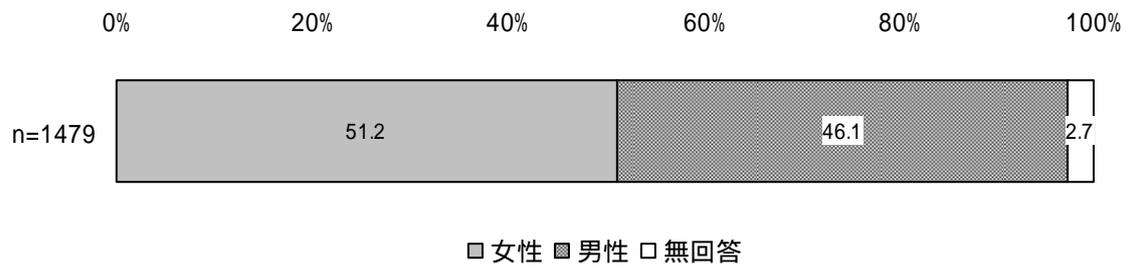


図 2 4 性別

(2) 年齢

F 2 あなたの年齢を教えてください。(1つに)
 1 . 15 ~ 19 歳(3.1%) 2 . 20 ~ 29 歳(9.9%) 3 . 30 ~ 39 歳(16.4%)
 4 . 40 ~ 49 歳(14.5%) 5 . 50 ~ 59 歳(14.7%) 6 . 60 ~ 69 歳(22.5%)
 7 . 70 歳以上(16.2%)

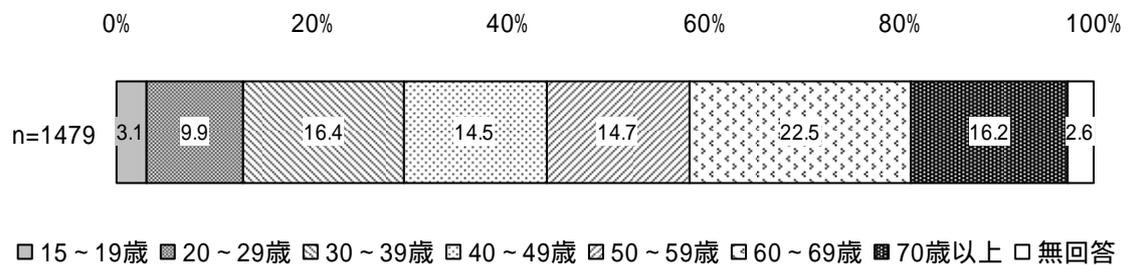


図 2 5 年齢

(3) 居住パターン

F3 あなたは松戸市にずっとお住まいですか。あてはまるものをお答えください。(1つに)

1. 生まれてからずっと松戸(15.6%)
2. 生まれは松戸だが、他に転出し、再び引っ越してきた(4.6%)
3. 他から引っ越してきた(77.2%)

「他から引っ越してきた」が 77.2%と非常に多く、「生まれは松戸だが、他に転出し、再び引っ越してきた」を含めると 80%以上の人が他から引っ越してきたことになる。

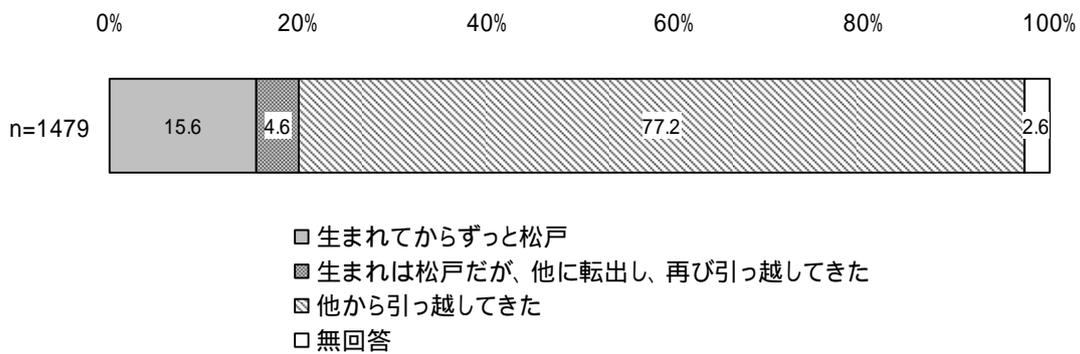


図 2 6 居住パターン

【年齢別の傾向】

・「生まれてからずっと松戸」は若い年代「15～39歳」で高い傾向にあり、50歳以上の年代では約90%が「他から引っ越してきた」であった。

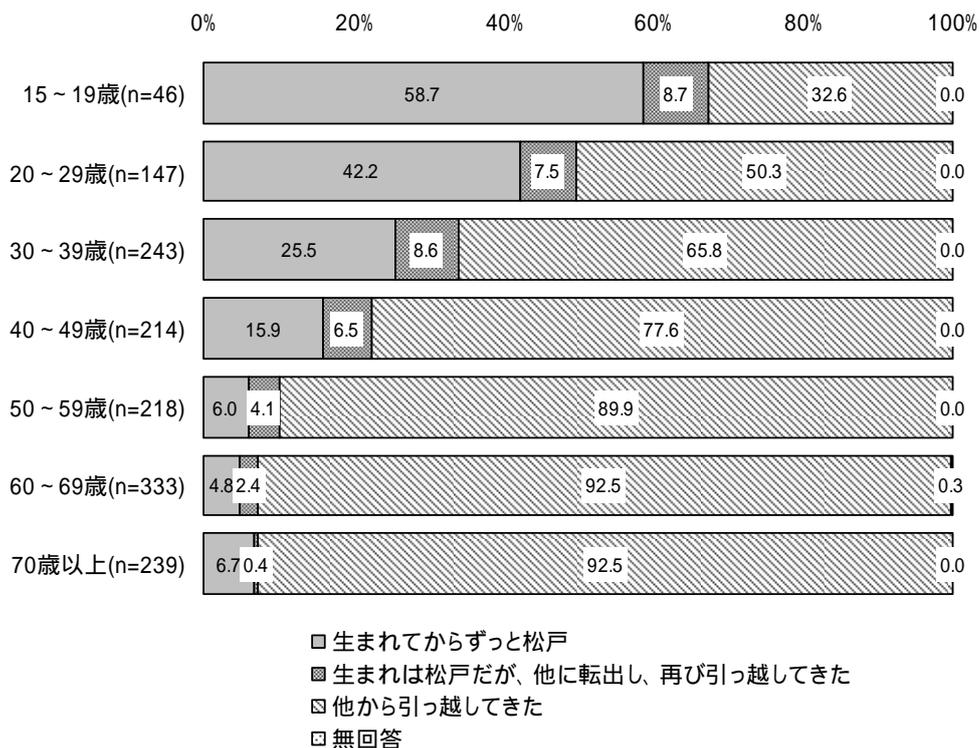


図 2 7 年齢×居住パターン

(4) 居住年数

F4 松戸市にお住まいになって何年(通算)になりますか。(1つに)	
1. 10年未満(18.4%)	2. 10年以上20年未満(18.0%)
3. 20年以上30年未満(19.7%)	4. 30年以上40年未満(24.2%)
5. 40年以上(16.8%)	

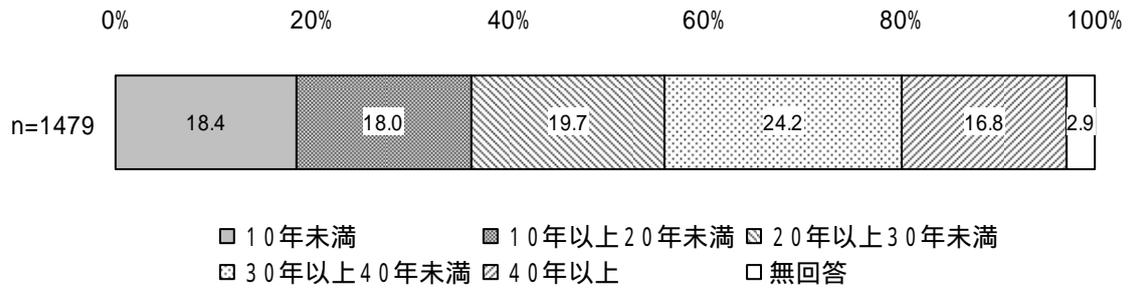


図28 居住年数

【居住地域別の傾向】

・「10年未満」では「東部」(34.9%)が全体に比べて高いなど、地域性が確認できた。

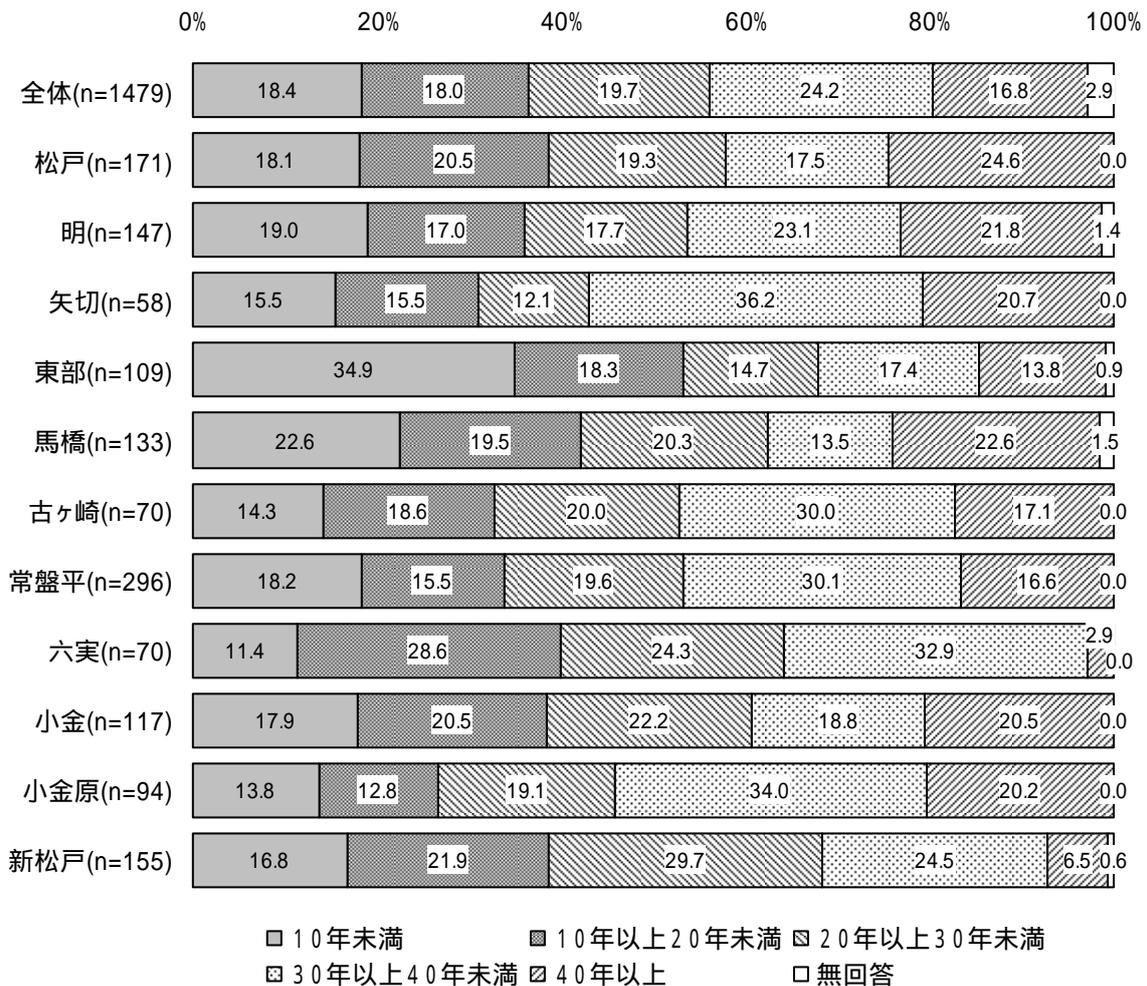


図29 居住地域×居住年数

(5) 居住地域

F5 あなたのお住まいの住所を教えてください。(分からない場合は、下の地図からお住まいの地域の番号に をしてください)

〒

地域	発送数	回収数	回収率(%)	
本庁	803	1.松戸	171	48.3
		2.明	70	
		6.古ヶ崎	147	
3.矢切	154	58	37.7	
4.東部	214	109	50.9	
5.馬橋	268	133	49.6	
7.常盤平	565	296	52.4	
8.六実	191	70	36.6	
9.小金	260	117	45.0	
10.小金原	196	94	48.0	
11.新松戸	349	155	44.4	
無回答	-	59	-	
計	3,000	1,479	49.3	

(6) 職業

F6 あなたの現在のご職業をお答えください。(1つに)

1. 会社員(27.8%) 2. 公務員(教員、団体職員含む)(4.4%)

3. 自営業(農業含む)(6.8%) 4. 臨時雇用(パートなど)(10.9%)

5. その他の職業(4.8%) 6. 学生(4.7%)

7. 収入のある職についていない(32.2%)

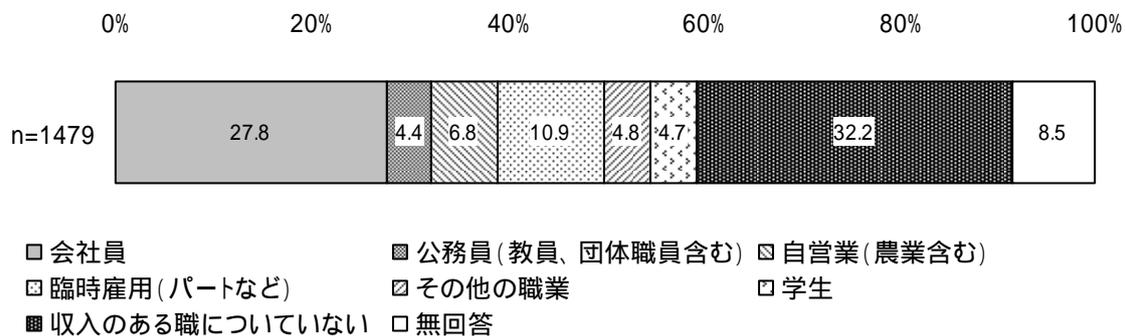


図30 職業

(7) 定住意向

F7 あなたは、これからも松戸市に住み続けたいと思いますか。(1つに)	
1. そう思う(51.2%)	2. ある程度そう思う(23.0%)
3. どちらともいえない(10.6%)	4. あまり思わない(4.3%)
5. 全く思わない(1.1%)	6. わからない(2.6%)

定住意向については、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせると74.2%と住み続けたいと思う人が多い結果となった。

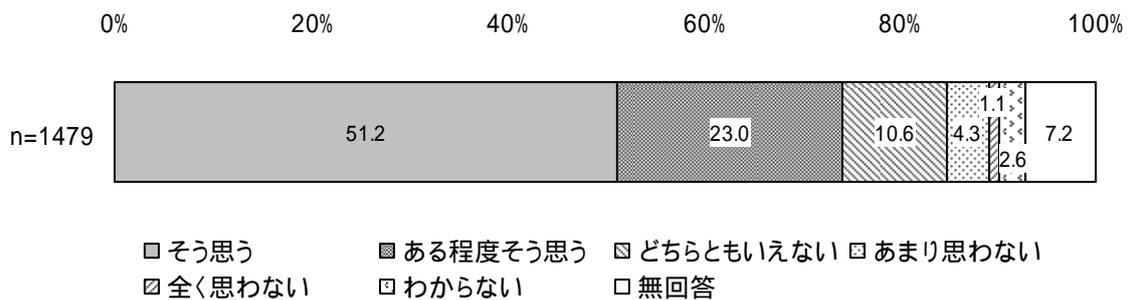


図3 1 定住意向

【属性別の傾向】

性別

・女性と男性とでは定住意向にほとんど差が見られない。

年齢

・10代を除いて、年齢が高くなるにつれて「そう思う」が高くなり、定住意向が強くなる傾向が見られた。

居住地域

・「そう思う」では、「矢切」(60.3%)、「常盤平」(56.8%)、「明」(55.8%)で定住意向が高かった。

居住パターン

・生まれが松戸であるか、他から引っ越してきたでは定住意向に大きな違いは見られなかった。

居住年数

・「そう思う」は、年数が多くなるにつれて高くなり、「40年以上」では76.3%であった。

職業

・「そう思う」は「自営業」(67.3%)、「収入のある職についていない」(64.7%)と全治に比べ高い結果となった。

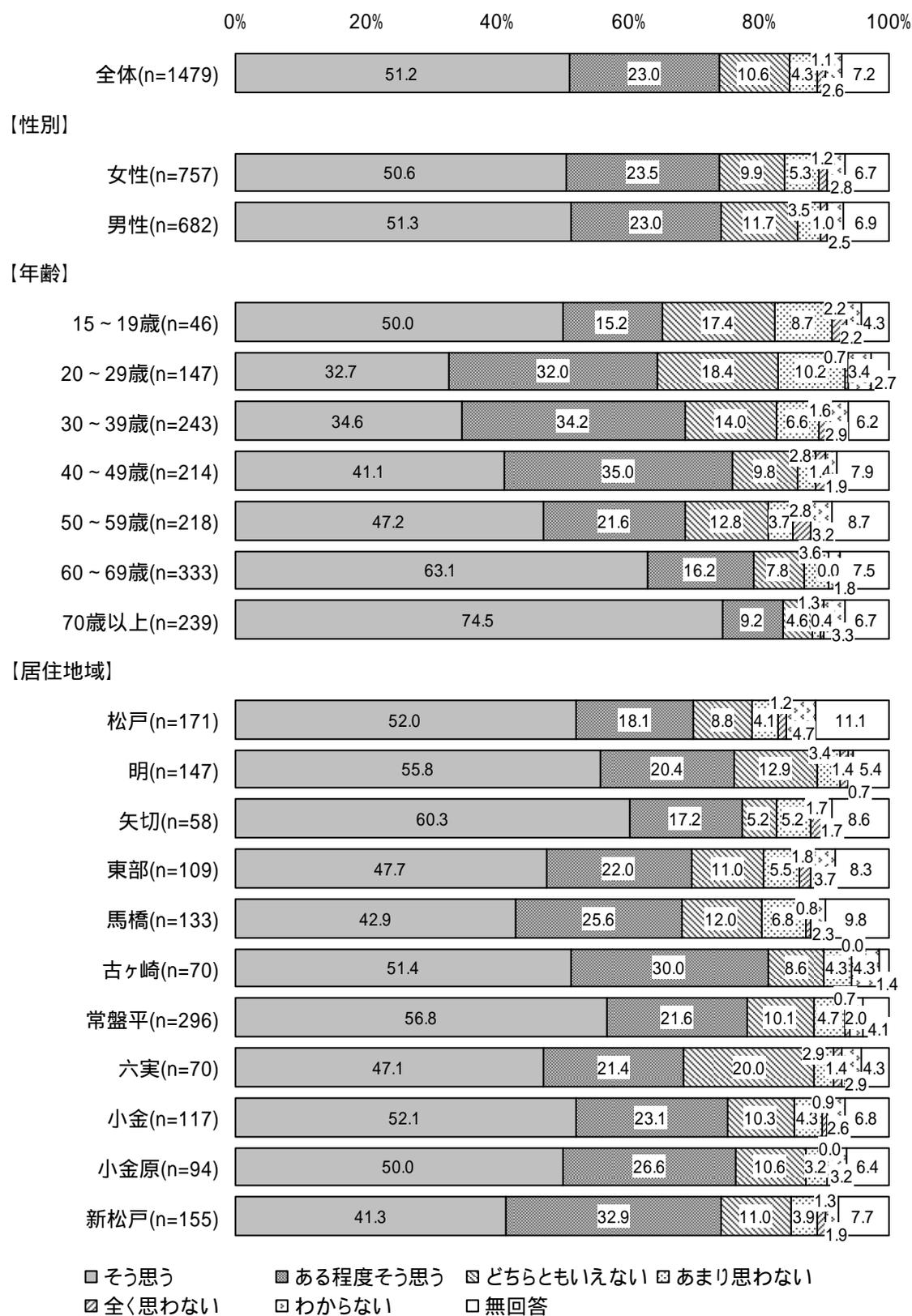
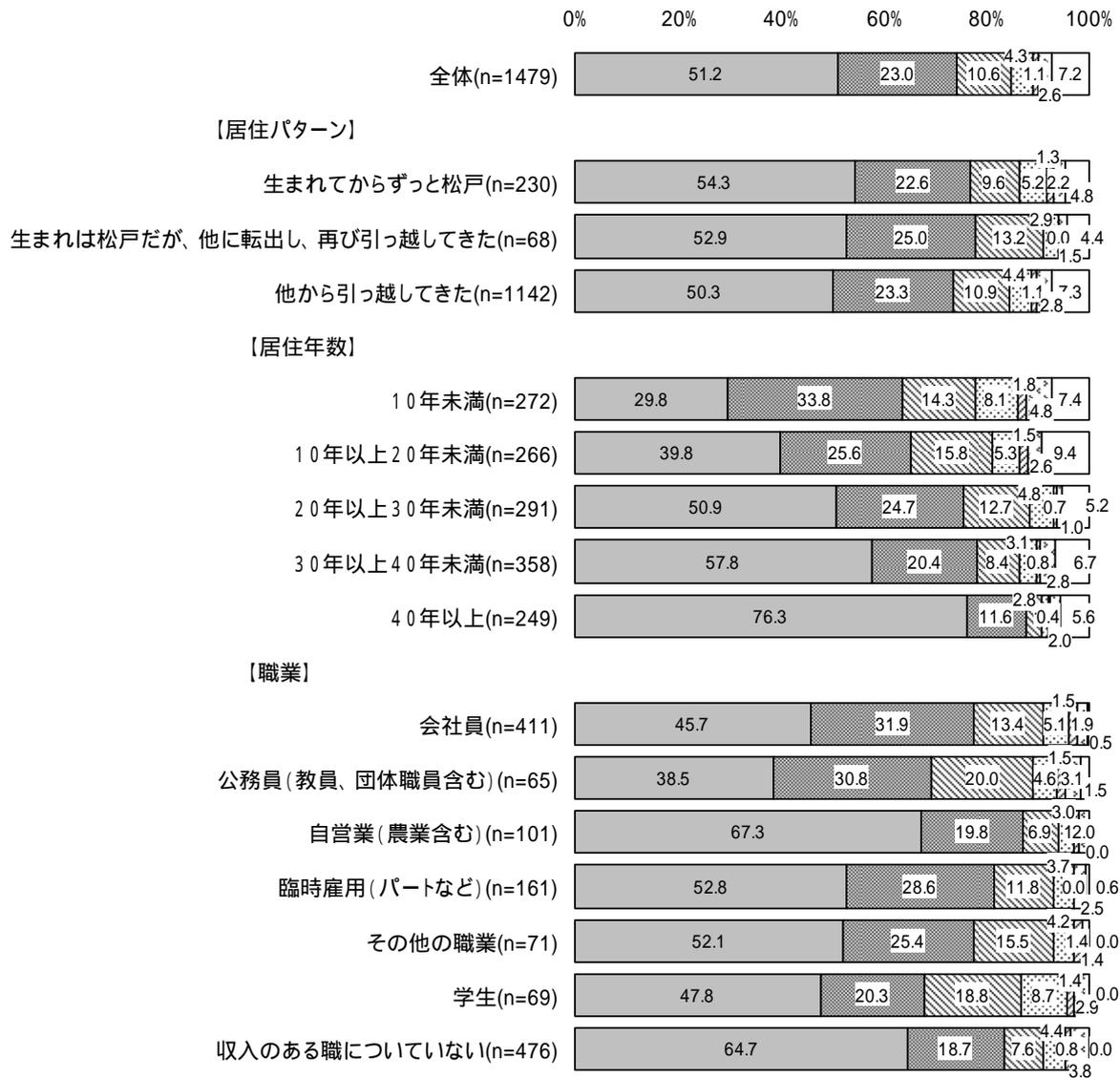


図3 2 性別、年齢、居住地域 × 定住意向



□ そう思う ■ ある程度そう思う ▨ どちらともいえない ▩ あまり思わない □ 全く思わない □ わからない □ 無回答

図 3 3 居住パターン、居住年数、職業 × 定住意向